

# 地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年7月1日)

- 1 東京五輪ジャマイカ全代表の事前キャンプ中止決定について  
【スポーツ課】・・・ 2ページ
- 2 東京オリンピック日本代表として出場する本県ゆかりの選手等について  
【スポーツ課】・・・ 3ページ
- 3 「鳥取県過疎地域持続的発展方針」の策定に向けた取組について  
【中山間地域政策課】・・・ 5ページ

地域づくり推進部

## 東京五輪ジャマイカ全代表の事前キャンプ中止決定について

令和3年6月21日  
スポーツ課

6月15日(火)夜に、本県とジャマイカオリンピック協会との間でオンライン会議を開催した結果、同会のクリストファー・サミュエル会長は、鳥取県での東京五輪事前キャンプを中止することを決定したと明らかにしました。

同会長によると、コロナ禍における本県及び日本の状況を深く理解した上で、チームにとって最適な選択肢を考え抜いた結果、日本政府が示している新型コロナウイルス感染対策や規制等を遵守した上で事前キャンプを実施するよりも、直接選手村に入る方が良いとの結論に達したとのこと。また、同会長は、今回の事前キャンプ中止はジャマイカと本県との友好関係に影響はない、むしろ交流の「新たな始まり(New Beginning)」だと述べ、今後の本県との友好強化に対する期待も表明しました。

本県としましては、事前キャンプ中止決定はやむを得ないと考えており、コロナ禍終息後も引き続き、これまで築き上げてきた良好な関係を維持すべく、ジャマイカとの交流を続けていく考えです。

なお、パラリンピックの事前キャンプについては、現段階では中止の決定はせず、これから検討するとのことです。

### 【中止となったキャンプの概要】

実施日程	2021年7月13日頃から7月末頃まで
受入競技と受入自治体	陸上競技<鳥取市> 水泳(競泳・飛込)、体操<米子市>
合宿施設	ヤマタスポーツパーク陸上競技場(陸上)、県営東山水泳場(水泳)、米子産業体育館(体操)
受入規模(想定)	陸上競技 約70名(役員、スタッフ含む) 水泳、体操 各約10名(役員、スタッフ含む)

### 【中止の経緯】

選手団と受入側双方の安全のため、国から示された受入マニュアル作成の手引きの内容を、ジャマイカ側に連絡していたところ、キャンプ実施断念の意向が示されました。

<国から示された主な感染症対策>

- ① 選手団の行動を宿泊場所、練習会場のみ限定する。
- ② 入国日が異なる者同士の接触を回避する。(→選手は一団で入国することとし、一団とは別に入国する選手は直接選手村への入村をお願いする。)
- ③ 原則として公共交通機関を利用せず、専用車両により移動する。(→できるだけ関西空港から入国されたい。)
- ④ 選手団は滞在中に原則毎日PCR検査を受検する。
- ⑤ 感染疑い者が出た場合には、保健所や医療機関への相談、連絡等を行い、連携して検査、入院などの必要な措置をとる。

### 【参考：その他のオリパラ事前キャンプについて】

#### ◎オリンピック

フランス・クライミングチーム(於 倉吉体育文化会館)

期 間:7/20~28(※確定)

選手団:8名(選手4名/コーチ等4名)

→7月上旬をめどに事前キャンプ受入マニュアルの内容遵守に係る合意書(倉吉市-フランス五輪委員会)を締結予定。

#### ◎パラリンピック

ジャマイカ・陸上(於 ヤマタスポーツパーク陸上競技場(鳥取市))

ボート(於 錦海ボートコース(米子市))

期 間:8月中下旬

選手団:各10名規模(想定)

→現在、選手決定までのタイムスケジュール、来県規模等、キャンプ実施に係る詳細情報を要求中。

## 東京オリンピック日本代表として出場する本県ゆかりの選手等について

令和3年7月1日  
スポーツ課

本県ゆかりの6名の選手及び4名の監督・コーチ等が、7月23日（金）に開幕する東京オリンピックの選手団員として決定しましたので報告します。

※日本オリンピック委員会（JOC）が、6月10日（木）に東京オリンピックの日本代表選手団員461名（選手241名、監督・コーチ等220名）を、25日（金）に同じく220名（選手131名、監督・コーチ等89名）をそれぞれ認定し、正式に決定されたもの。

### 1 本県ゆかりの選手・監督・コーチ

#### (1) 選手（競技日程順）

※年齢は7月1日現在

競技	氏名	出身・所属	出場種目	競技日程
ライフル射撃	なかぐち はるか 中口 遥 (23歳)	日吉津村出身、 滋賀ダイハツ販売	女子10mエアライフル個人、 混合10mエアライフル団体	7月24日（土）、 27日（火）
ボート	とみた ちあき 富田 千愛 (27歳)	米子市出身、 関西電力	女子軽量級ダブルスカル	7月24日（土） ～29日（木）
ボクシング	いりえ せな 入江 聖奈 (20歳)	米子市出身、 日本体育大学	女子フェザー級	7月24日（土） ～8月3日（火）
セーリング	せがわ かずまさ 瀬川 和正 (31歳)	大阪府出身、 鳥取県スポーツ協会	男子フィン級	7月27日（火） ～8月3日（火）
水泳（競泳）	むら りゅうや 武良 竜也 (24歳)	米子市出身、 ミキハウス	男子200m平泳ぎ	7月27日（火） ～29日（木）
水泳（飛込）	みかみ さやか 三上 紗也可 (20歳)	米子市出身、 日本体育大学	女子3m飛板飛込	7月30日（金） ～8月1日（日）

#### (2) 監督・コーチ等（競技日程順）

競技	氏名	出身・所属	役職	競技日程
サッカー女子	おおべ ゆみ 大部 由美	境港市出身、 境港市役所	コーチ	7月21日（水） ～8月6日（金）
水泳（飛込）	やすだ ちまき 安田 千万樹	米子市出身、 鳥取県スポーツ課	監督	7月25日（日） ～8月7日（土）
スポーツ クライミング	やすい ひろし 安井 博志	三朝町出身、 JOC（本県から派遣）	監督	8月3日（火） ～6日（金）
空手	うさみ りか 宇佐美 里香	東京都出身 鳥取県スポーツ協会	チームリーダー	8月5日（木） ～7日（土）

### 2 今後の主なスケジュール

7月6日（火）	日本代表選手団壮行会
7月23日（金）	開会式
8月8日（日）	閉会式

【出場選手の経歴・主な成績】(競技日程順) ※下線部は五輪内定成績

**中口 遥 選手 (ライフル射撃)**

経歴 日野高ー同志社大ー滋賀ダイハツ販売

主な成績 国民体育大会(茨城) 成年女子10mエアライフル伏射 5位(2019年10月)  
東京五輪代表最終選考会 女子10mエアライフル個人1位(再選考会2位)(2021年3月)

**富田 千愛 選手 (ボート)**

経歴 米子東高ー明治大学ー明治大学大学院ー福井県スポーツ協会ー関西電力

主な成績 リオ五輪女子軽量級ダブルスカル12位(2016年8月)  
世界ボート選手権(オーストリア) 女子軽量級シングルスカル2位(2019年8~9月)  
東京五輪アジア・オセアニア大陸予選(東京) 女子軽量級ダブルスカル優勝(2021年5月)

**入江 聖奈 選手 (ボクシング)**

経歴 米子西高ー日体大

主な成績 コロトコフ記念国際トーナメント(ロシア:ハバロフスク) 優勝(2021年5月)  
東京五輪ボクシングアジア・オセアニア予選(ヨルダン) 女子フェザー級2位(2020年3月)

**瀬川 和正 選手 (セーリング)**

経歴 浪花高(大阪府)ー龍谷大(京都府)ー鳥取県スポーツ協会

主な成績 2020レーザー級世界選手権大会(オーストラリア・メルボルン) 84位(2020年2月)  
東京五輪代表選考会 フィン級 優勝(2021年5月)

**武良 竜也 選手 (水泳・競泳)**

経歴 米子北高ー日体大ーBWSーミキハウス

主な成績 ワールドカップ東京大会 200m平泳ぎ3位(2019年8月)  
日本選手権 100m平泳ぎ2位、200m平泳ぎ3位(2020年12月)  
日本選手権 100m平泳ぎ2位、200m平泳ぎ2位 ※五輪標準記録突破(2021年4月)

**三上 紗也可 選手 (水泳・飛込)**

経歴 米子南高ー日体大

主な成績 世界選手権(韓国) 3m飛板飛込5位(2019年7月)  
日本選手権 3m飛板飛込優勝(2019年9月)  
日本選手権 3m飛板飛込優勝(2020年9月)  
FINA ワールドカップ(東京) 3m飛板飛込6位(2021年5月)

【出場監督・コーチの経歴・指導歴】(競技日程順)

**大部 由美 コーチ (サッカー)**

経歴 八千代松陰高ー日興証券トレーニング施設ー沖電気WindsーYKK東北フラッパーズー東京電力  
指導歴 「なでしこチャレンジプロジェクト」コーチ、JFA女子担当ナショナルトレセンコーチ、  
ガイナレ鳥取U-15コーチ、U-16/U-17日本女子代表コーチ、日本女子代表コーチ

**安田 千万樹 監督 (水泳・飛込)**

経歴 天理高ー天理大ー奈良県体育協会ー鳥取県教員ー鳥取県スポーツ課  
指導歴 鳥取県水泳連盟飛込委員長、日本水泳連盟飛込委員会強化コーチ

**安井 博志 監督 (スポーツライミング)**

経歴 倉吉東高ー鳥取大ー鳥取県教員ー鳥取県スポーツ課ーJOC(派遣)  
指導歴 鳥取県山岳協会国体強化部長、ユース日本代表コーチ、ボルダリング日本代表ヘッドコーチ、JOCナショナルコーチ

**宇佐美 里香 チームリーダー (空手)**

経歴 帝京高ー国士舘大ー国士舘大院ー鳥取県教育委員会ー鳥取県スポーツ協会  
指導歴 鳥取県スポーツ協会特任体育指導員、全日本空手道連盟強化委員、同選手強化委員長

# 「鳥取県過疎地域持続的発展方針」の策定に向けた取組について

令和3年7月1日  
中山間地域政策課

過疎地域自立促進特別措置法（旧過疎法）が令和3年3月31日に失効し、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（新過疎法）」が同年4月1日に施行されました。

新過疎法に基づき、県は、過疎地域の持続的発展を図るため「県過疎地域持続的発展方針」（以下「県過疎方針」）を定めることができるとされており、以下により県過疎方針の策定を進めています。

## 1 県過疎方針の概要

新たな過疎対策を進めるため、新過疎法の目的が「過疎地域の持続的発展」に見直される（旧過疎法の目的：「過疎地域の自立促進」とともに、過疎対策の目標に、人材の確保・育成、情報技術の活用、再生可能エネルギーの利用の推進に関する事項等が新たに追加されたところであり、こうした法の趣旨を踏まえて作成する。

### (1) 名称（案）

鳥取県過疎地域持続的発展方針（仮称）

### (2) 県過疎方針に定める事項

ア 過疎地域の持続的発展に関する基本的な事項

過疎地域の現状と問題点、過疎地域持続的発展の基本的な方向、広域的な経済社会圏の整備計画等との関連

イ 過疎地域の持続的発展のために実施すべき施策に関する事項として次のもの

(ア) 移住及び定住、地域間交流の促進、人材育成

(イ) 産業の振興

(ウ) 情報化

(エ) 交通施設の整備、日常的な移動のための交通手段の確保

(オ) 生活環境の整備

(カ) 子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上及び増進

(キ) 医療の確保

(ク) 教育の振興

(ケ) 集落の整備

(コ) 地域文化の振興等

(サ) 脱炭素化の推進

### (3) 策定期間

5年間（令和3年度～令和7年度）

## 2 県過疎方針の策定に向けたスケジュール

5月上旬～6月下旬 関係機関等への意見照会（庁内、市町村、有識者等）

7月上旬～中旬 パブリックコメントの実施

7月下旬 国への協議

（国：総務省、農林水産省、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省）

8月下旬（見込） 国の同意 → 県過疎方針の公表

## 3 市町過疎計画の策定に向けたスケジュール

市町は、県過疎方針に基づき「過疎地域持続的発展市町計画」（以下「市町過疎計画」）を定めることができるようになっており、同計画の策定には、県への協議が必要とされています。

（市町過疎計画に基づいて行う事業について、過疎対策事業債を財源とすることができる。）

4月～6月 市町説明会（新過疎法の概要・市町過疎計画策定の留意点等）

～7月下旬 市町にて市町過疎計画を作成、県へ協議

～8月下旬 県にて市町過疎計画の内容確認

9月上旬～下旬 市町過疎計画の策定（市町議会での議決）

9月下旬～ 市町過疎計画の公表・国への提出

【参考】 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の概要

(1) 目的 「過疎地域の持続的発展」(旧過疎法では「過疎地域の自立促進」)

(2) 過疎対策の目標の追加

旧過疎法にあった目標に加え、地域人材の担い手の育成、情報通信産業の振興、再生可能エネルギーの利用推進などの目標を新たに追加

(3) 過疎地域の指定要件(主なもの)

区 分	人口要件	財政力要件
ア 長期要件①	昭和50年以降の人口減少率28%以上 (財政力指数が0.40以下の場合は23%以上)	平成29年～令和元年 財政力指数0.51以下
イ 長期要件②	昭和50年以降の人口減少率23%以上 かつ、高齢者比率35%以上又は若年者比率11%以下	同上
ウ 中期要件	令和2年以降の人口減少率21%以上	同上
エ 一部過疎	平成の大合併による合併市町村において、旧市町村単位 で、上記ア～ウの人口要件を満たす場合	平成29年～令和元年 財政力指数0.64以下

(4) 新過疎法に基づき本県で過疎地域に指定された地域

(※下線地域は、令和3年4月1日から新たに追加指定された地域)

鳥取市(旧河原町、旧用瀬町、旧佐治村、旧青谷町)、倉吉市(旧関金町)、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町(旧船岡町、旧八東町)、三朝町、湯梨浜町(旧泊村)、琴浦町(旧赤碕町)、北栄町(旧大栄町)、大山町、伯耆町(旧溝口町)、日南町、日野町、江府町